



## 県内病院初!タリーズコーヒーがオープン!

平成27年6月25日(木)に、病院内としては県内初となるタリーズコーヒー「島根大学医学部附属病院店」がオープンしました。

病院内にある店舗ならではの特徴は以下の通りです

- ① 朝早くからの営業時間(平日7:00~21:00 土日祝9:00~18:00)
- ② 車椅子の方でも利用しやすい手すりやカウンターを整備
- ③ 体調に合わせ、カフェインを減らしたコーヒーの選択もできます



日々、緊張感ある医療の現場において、患者さん、ご家族、病院の職員、学生など、病院に関わるすべての方々にご利用になって「ほっ」と一息つけるような、「癒しの空間」をご提供します。

## 島根大学医学部における 研修会・講演会・セミナー開催情報について

病院医学教育センター センター長 ひろせ まさひろ  
廣瀬 昌博

島根大学医学部では、平成20年から医学科、看護学科および医学部附属病院における講演会、研修会およびセミナーの効率的な開催と関係者の参加を目指し、それらに関する情報を一元化して医学部ホームページに掲載してきました。

一方、病院ニュースは平成25年度から島根大学医学部および附属病院に関する様々な情報や話題について、各関連施設に対して情報提供を行ってきました。そこで、あらたに平成27年度から、研修会・講演会・セミナーの直近1ヶ月間の情報を病院ニュースで提供することと致しました。

これにより、各研修会等への院内、院外の諸先生方、医療スタッフの方々の効率的な参加により、島根県内の医療従事者の情報共有がこれまで以上に期待されます。

8月15日~9月14日		対象者: 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生		
開催日	時間	場所(★印 学外開催)	対象者	開催名
8/17(月)	18:00~19:00	外来・中央診療棟2階 がん検診センター	医療 本学	初歩からの12誘導心電図
8/20(木)	18:00~19:00	外来・中央診療棟2階 がん検診センター	医療 本学	基本的フィジカルアセスメント
8/24(月)	18:00~	外来・中央診療棟2階 がん検診センター	医療 本学	静脈穿刺講習
8/26(水)	17:30~19:00	外来・中央診療棟2階 がん検診センター	看護師 助産師(2年目以降)	急変時対応セミナー
8/28(金)	13:30~15:30	★雲南市立病院	一般	平成27年度 島根県がんビジュアルター相談会
8/30(日)	9:30~11:30	★大田市立病院	一般	平成27年度 島根県がんビジュアルター相談会
9/3(木)	19:00~20:15	★ホテル武志山荘(出雲市)	医療 本学	第16回島根整形外科スポーツ医学フォーラム
9/5(土)	10:00~17:00	外来・中央診療棟2階 がん検診センター	医療 本学	第10回島根大学新生児蘇生講習会
9/9(水)	9:30~11:30	★浜田医療センター	一般	平成27年度 島根県がんビジュアルター相談会

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



Shimane University Hospital  
島大病院ニュース

2015年

8月  
Vol.22

# NEWS



## CONTENTS

### 先進医療への取り組み

- ・「CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法」を開始しました
- ・「リアルタイムPCR法によるEBウイルス感染症迅速診断」を開始しました

- ・県内病院初!タリーズコーヒーがオープン!
- ・島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報について



## 「CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法」を開始しました

消化器内科 診療科長 きのした よしかず 木下 芳一

この度、先進医療として、新しいヘリコバクター・ピロリの除菌治療を始めました。

ヘリコバクター・ピロリは胃内に慢性感染をおこし、胃癌、胃・十二指腸潰瘍、胃のリンパ腫、慢性胃炎などの原因となっていることが分かっています。抗生物質を用いてこの菌を殺菌する治療（除菌治療）を行うと、胃・十二指腸潰瘍や胃癌になりにくくなることがわかっており、保険診療で除菌治療がみとめられています。今年になって、強力な胃酸分泌抑制薬であるタケキャブ R が使用可能となり、ヘリコバクター・ピロリの除菌治療の多くが、タケキャブ R と抗生物質二種を用いた三剤併用療法で行われるようになってきました。タケキャブ R を用いた三剤併用療法は有用性が高い治療ですが、残念ながら全ての患者さんでこの治療が成功するわけではありません。

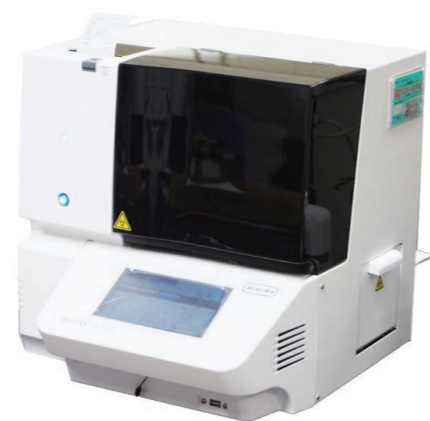
当院消化器内科では、先進医療として、新しいヘリコバクター・ピロリの除菌治療を開始しております。まず、検査部設置の遺伝子解析装置を用いて少量の血液から肝臓の薬物代謝酵素である CYP2C19 の遺伝子多型を検索し、どのような遺伝子型を持っておられるのかを調べます。これに基づいて抗生物質と一緒に使用するべき最も適切なプロトンポンプ阻害薬を選択し、プロトンポンプ阻害薬と抗生物質を用いた三剤併用療法を行います。タケキャブ R を用いることができない方や使用したくない方には有効な治療となりますので、一般的な除菌治療で困られることがありましたら御相談いただきますと幸いです。

### 先進医療料

・患者さん1人当たり 17,900円

問合せ先 内科外来 TEL 0853-20-2381

Access  
消化器内科  
外来 TEL 0853-20-2381  
病棟 TEL 0853-20-2493  
医局 TEL 0853-20-2190  
FAX 0853-20-2187  
URL <http://www.shimane-u-internal2.jp>



遺伝子解析装置 i-dency™ IS-5320

## 「リアルタイムPCR法によるEBウイルス感染症迅速診断」を開始しました

輸血部 部長 たけし 竹谷 健

本年6月から、先進医療として「リアルタイムPCR法によるEBウイルス感染症迅速診断」を始めました。

当院は、造血幹細胞移植や腎移植などの移植医療を精力的に行っています。また、他の医療機関で行われた生体肝移植などの移植を受けた多くの患者さんを診療させて頂いています。移植を行った後は、臓器移植の拒絶反応や造血幹細胞移植の合併症であるGVHDを予防するために強力な免疫抑制療法が必要ですが、それに伴ってさまざまな感染症が合併します。免疫抑制剤を投与中に、発熱・リンパ節腫脹や、肝逸脱酵素の上昇、炎症反応の上昇などが認められることがありますが、その原因が移植後の拒絶反応・GVHDによるものか、感染症によるものかの診断及び対応は、患者さんの予後に大きく影響します。特に、EBウイルス感染症では、移植後リンパ増殖症、EBウイルス関連血球貪食症候群などの重篤な疾患が発症することが知られています。従来のEBウイルス感染症の診断は、血清学的診断あるいは病理組織診断が行われていました。しかし、前者は、免疫抑制剤使用中の場合、EBウイルス抗体価は上昇しないことが多いため、正確な診断は不可能です。また、後者は、侵襲が強い上に、迅速性がなく、急速に進行するEBウイルス感染症に対応できませんでした。

リアルタイムPCR法は、ウイルスDNAを2-3時間以内に増幅でき、また、定量も可能な優れた方法です。この方法を利用すると、正確かつ簡便、迅速にEBウイルス感染症を診断できますので、早期に治療を開始することができることによって、患者さんの予後の改善だけでなく、治療期間の短縮、医療費の低減も見込めます。また、定量評価が出来るため、治療効果も併せて評価でき、その後の治療方針の決定に有用です。



遺伝子解析機器部門



遺伝子核酸抽出部門

### 先進医療料

・患者さん1人当たり 13,500円

問合せ先 輸血部 TEL 0853-20-2421

Access  
輸血部  
TEL 0853-20-2421  
FAX 0853-20-2423  
URL <http://muw.shimane-med.ac.jp/yuketu>



島大病院ニュース  
2015年8月

# お知らせ

## 先進医療 「LDLアフェレシス療法」申請中

腎臓内科 診療科長 いとう たかふみ  
伊藤 孝史

糖尿病のコントロールが悪い状態が長期間続くと腎機能が低下し、最悪の場合は透析が必要になります。糖尿病性腎症は、1998年以降透析導入の原因の第1位となり、年間で16,000人以上が新規に透析導入となっています。2013年には新規透析導入患者の43.8%を占めています。

重度の尿蛋白を呈する糖尿病性腎症では、稀にネフローゼ症候群を発症することがあり、日本腎臓病学会レジストリー報告に基づく試算では、糖尿病性腎症に伴うネフローゼ症候群の患者数は約2,000~3,000人と推定されています。さらに、ネフローゼ症候群が合併すると腎機能低下が助長され、短期間で末期腎不全に至るリスクを高めることも知られています。しかし、一般的にネフローゼ症候群の治療に使用される副腎皮質ステロイド薬は副作用の観点から糖尿病性腎症には禁忌とされているため、炎症に対しては免疫抑制薬等の選択により代替していますが、病勢コントロールに難渋することが多いのが現状です。また、ネフローゼ症候群では脂質異常症の合併が多く認められ、高LDLコレステロール血症は腎障害を引き起こすことからスタチンをはじめとする脂質低下薬が選択されます。しかし、横紋筋融解症等の副作用や免疫抑制薬との相互作用の観点から全例に継続して使用できるものではなく、LDLコレステロールのコントロールに難渋することもあります。

以前から腎疾患などに対してはアフェレシス療法が施行されており、LDL吸着療法は難治性高コレステロール血症に対して国内薬事承認を受けており、家族性高コレステロール血症、閉塞性動脈硬化症、巣状糸球体硬化症に保険適用があります。また、糖尿病性腎症に起因するネフローゼ症候群に対するLDL吸着療法についても複数の報告があり、LDL吸着療法を施行した20例の予後調査研究において生命および腎予後の改善されることが報告され、有力な治療選択肢としての可能性が示されています。

そこで今回、重度尿蛋白を伴う糖尿病性腎症患者に対し、LDL吸着療法を実施し、生命延長や腎機能維持等の有効性と安全性を検討するための多施設共同臨床研究(LICENSE研究)が計画され、当院でも倫理委員会で承認されました。実際の症例の選択、治療に関しては、内分泌代謝内科、泌尿器科、血液浄化治療部、腎臓内科が共同で行います。さらに将来的な保険診療を指して先進医療Aの申請中です。該当の患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介頂ければ幸いです。



**問合せ先** 腎臓内科外来 TEL: 0853-20-2381

お知らせ  
島大病院ニュース

平成27年8月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース  
2015年8月

# お知らせ

## 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を用いた 子宮癌手術を開始しました。



産科・婦人科 診療科長 きょう さとる 京 哲

当科では平成27年6月より手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を用いた子宮癌(子宮頸癌、子宮体癌)手術を開始しました。ロボット支援手術は、今までの腹腔鏡下手術の利点をさらに向上させうる、次世代の医療革新の一端を担う分野です。特に骨盤の深い部分では視野や細かい操作性が腹腔鏡に比べて大幅に向上したダ・ヴィンチ支援下手術の優位性が発揮され、根治性や侵襲性に大いにメリットがあると考えます。当科では、このような利点のあるダ・ヴィンチ支援下手術を広く子宮癌の患者さんに提供していきたいと考えております。

本手術は先進医療の認可を受けるまでは臨床研究としての取り扱いとなります。そのため手術費用に関しては当院の負担となり、患者さんの負担はございません。本手術についての詳細については当科まで遠慮なくお問い合わせください。

**問合せ先** 産科・婦人科外来 TEL:0853-20-2389



サージョンコンソール



ペイシャントカートとアームのドッキング



ダ・ヴィンチ用鉗子による操作のモニター画面

お知らせ

島大病院ニュース

平成27年8月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース  
2015年8月

# お知らせ

## 一畑バス 「出雲市内循環線」乗り入れ、順調!!!



一畑バス「市内循環線」の乗り入れがスタートしてから、既に4ヶ月が経過しました。当院乗り入れ当初は、どの程度のお客さんが利用されるか正直心配しておりました。過日、一畑バスにお話を伺ったところ、乗客の方から「市内循環線の乗り入れにより、島根大学病院へのアクセスが便利になり、助かっている。」との嬉しいご意見を伺いました。

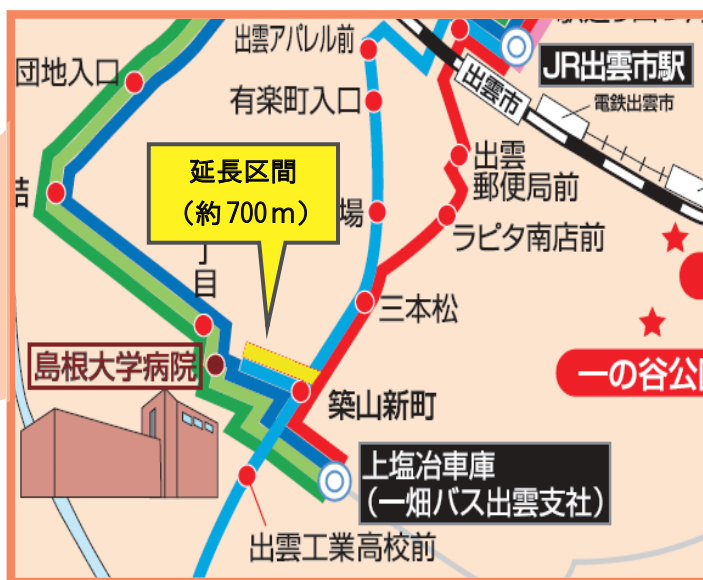
これは、出雲市駅から当院までの乗り入れ時間の大幅な短縮(約12分⇒約7分)と低額の均一料金(150円)によるものと推察しております。

4月から、当院には一畑バス「大社・日御碕線」、「須佐線」(68便)とスサノオ観光「根波線(出雲市駅行き)」3便に加えて、「出雲市内循環線」(右回り・左回り)計20便が乗り入れており、合計91便が当院を經由しています。

今後、県立中央病院と当院の2つの基幹病院の相互の連携強化並びに路線バスを利用し来院される患者さんにとりまして、利便性に配慮した路線が継続するよう心より願っています。

また、当院は、これからも「患者さんの視点」に立ち、地域に根差した医療に引き続き取り組んで参ります。

今後とも、地域のみなさまのご意見・ご要望をお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。



### 参考

運賃:均一 150円

島根大学病院 ~ 県立中央病院 約25分

島根大学病院 ~ JR出雲市駅 約7分

